

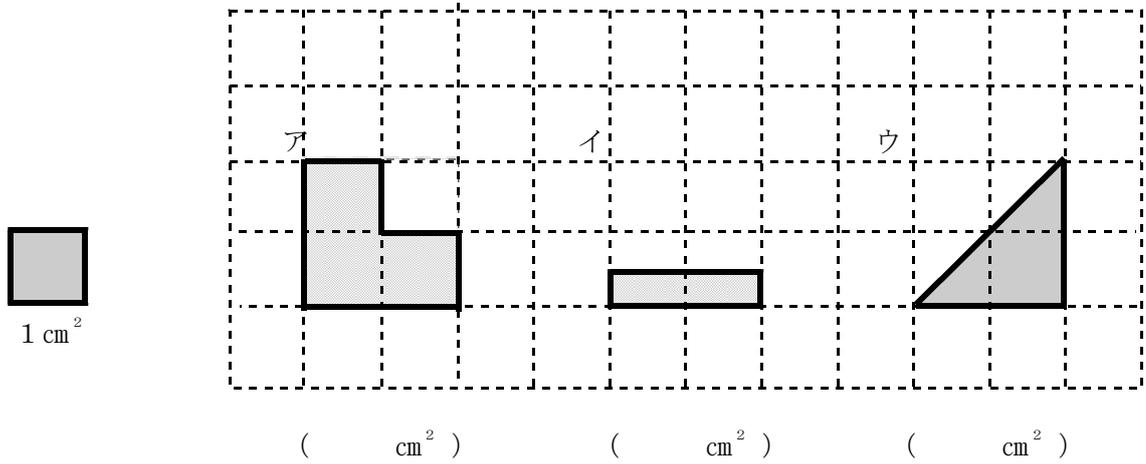
数学1 6章 空間図形 「立体の表面積と体積」 <準備問題①>

組 番 名前

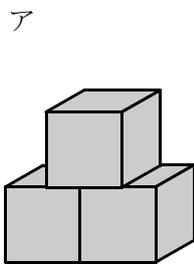
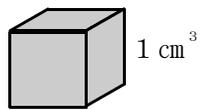
面積や体積の表し方や求め方について、次の問いに答えなさい。

(1) 次のア～ウの面積を求めなさい。

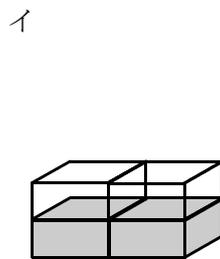
(1マス1cmの方眼で、イの縦の長さは0.5cmとする。)



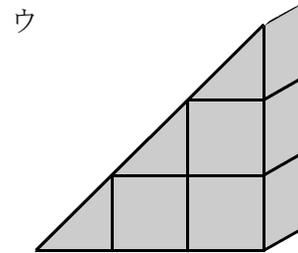
(2) 次のア～ウの体積を求めなさい。(イの高さは1マスの半分の高さとする)



(cm³)



(cm³)



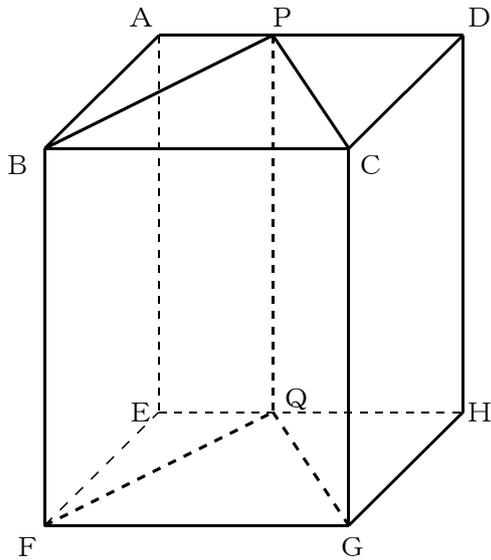
(cm³)

1

- (1) ア 3 cm^2 イ 1 cm^2 ウ 2 cm^2
(2) ア 3 cm^3 イ 1 cm^3 ウ 4.5 cm^3

1

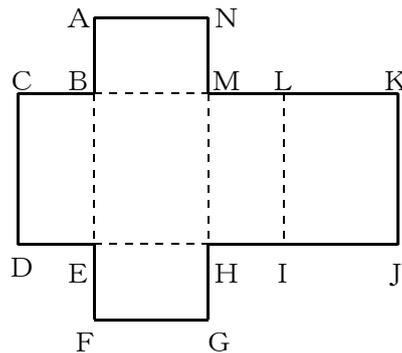
次の直方体で、 $AB = 6\text{ cm}$ 、 $BC = 8\text{ cm}$ 、 $BF = 10\text{ cm}$ のとき、三角柱 $PBC - QFG$ の体積を求めなさい。



2

右の図は、直方体の展開図です。

$CD = 8\text{ cm}$ 、 $IJ = 6\text{ cm}$ 、 $ML = 4\text{ cm}$ のとき、この直方体の体積を求めなさい。



①

$$240 \text{ cm}^3$$

【解説】

「単位とする立方体」の個数は、

$$8 \times 6 \times \frac{1}{2} \times 10 = 240 \text{ (個)}$$

②

$$192 \text{ cm}^3$$

【解説】

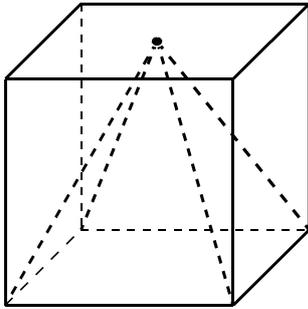
$$6 \times 4 \times 8 = 192$$

数学1 6章 空間図形 「立体の表面積と体積」 <基本問題①>

組 番 名前

1

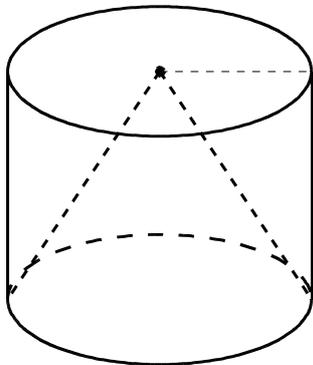
下の図のような直方体の入れ物には、底面積と高さが同じ四角すいの入れ物の3倍の量の水を入れることができます。このことを利用して、四角すいの体積を求める式を完成させなさい。



$$\begin{aligned}
 \text{四角すいの体積} &= \text{直方体の体積} \times (\quad) \\
 &= (\quad) \times (\quad) \times \text{高さ} \times (\quad) \\
 &= (\quad) \times \text{高さ} \times (\quad)
 \end{aligned}$$

2

円柱の入れ物にも、直方体の時と同様に、底面積と高さが同じ円すいの入れ物の3倍の量の水を入れることができます。円すいの体積を求める式を完成させなさい。



$$\begin{aligned}
 \text{円すいの体積} &= \text{円柱の体積} \times (\quad) \\
 &= (\quad) \times (\quad) \times \pi \times \text{高さ} \times (\quad) \\
 &= (\quad) \times \text{高さ} \times (\quad)
 \end{aligned}$$

①

$$\begin{aligned} \text{正四角すいの体積} &= \text{直方体の体積} \times \left(\frac{1}{3}\right) \\ &= (\text{たて}) \times (\text{よこ}) \times \text{高さ} \times \left(\frac{1}{3}\right) \\ &= (\text{底面積}) \times \text{高さ} \times \left(\frac{1}{3}\right) \end{aligned}$$

②

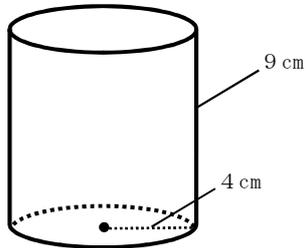
$$\begin{aligned} \text{円すいの体積} &= \text{円柱の体積} \times \left(\frac{1}{3}\right) \\ &= (\text{半径}) \times (\text{半径}) \times \pi \times \text{高さ} \times \left(\frac{1}{3}\right) \\ &= (\text{底面積}) \times \text{高さ} \times \left(\frac{1}{3}\right) \end{aligned}$$

数学1 6章 空間図形 「立体の表面積と体積」 <基本問題②>

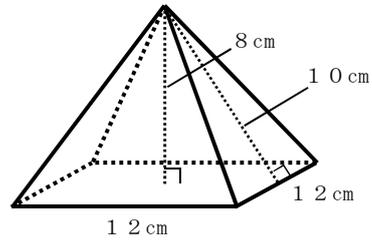
組 番 名前 _____

1 次の立体の体積と表面積を求めなさい。ただし、円周率は π とします。

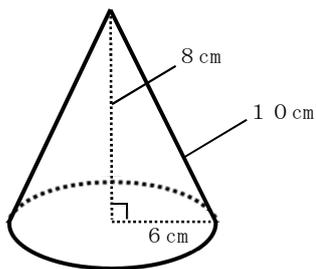
(1) 円柱



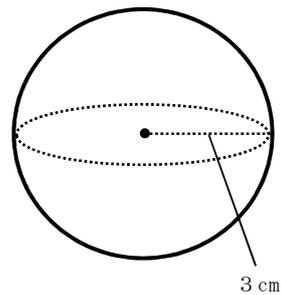
(2) 四角すい



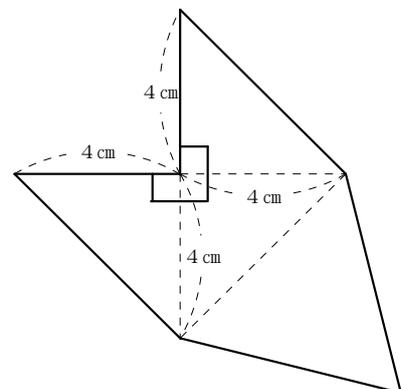
(3) 円すい



(4) 球



2 展開図が、右の図のように示される立体の体積を求めなさい。



数学1 6章 空間図形 「立体の表面積と体積」 <基本問題②・解答>

1

(1) 体積 $(\pi \times 4^2) \times 9 = 144\pi$ $144\pi \text{ cm}^3$

表面積 $(\pi \times 4^2) \times 2 + (2\pi \times 4) \times 9 = 104\pi$ $104\pi \text{ cm}^2$

(2) 体積 $(12 \times 12) \times 8 \times \frac{1}{3} = 384$ 384 cm^3

表面積 $12 \times 12 + (12 \times 10 \times \frac{1}{2}) \times 4 = 384$ 384 cm^2

(3) 体積 $(\pi \times 6^2) \times 8 \times \frac{1}{3} = 96\pi$ $96\pi \text{ cm}^3$

表面積 $\pi \times 6^2 + \pi \times 10^2 \times \frac{2\pi \times 6}{2\pi \times 10} = 96\pi$ $96\pi \text{ cm}^2$

(4) 体積 $\frac{4}{3} \times \pi \times 3^3 = 36\pi$ $36\pi \text{ cm}^3$

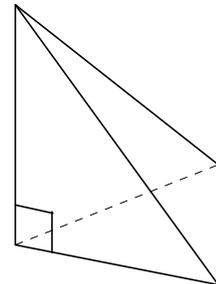
表面積 $4 \times \pi \times 3^2 = 36\pi$ $36\pi \text{ cm}^2$

2

展開図を組み立てると、右の図のような三角すいになる。
よって、

$$(4 \times 4 \times \frac{1}{2}) \times 4 \times \frac{1}{3} = \frac{32}{3}$$

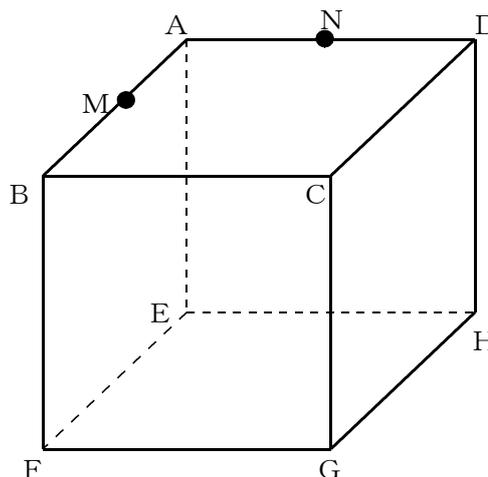
$$\frac{32}{3} \text{ cm}^3$$



1

右の図は、1辺の長さが12cmの立方体で、点M、Nはそれぞれ辺AB、辺ADの中点です。

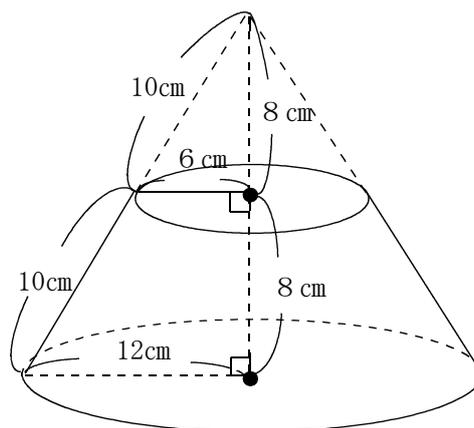
この立方体を、3点M、N、Eを通る平面で切るとき、点Cを含む立体の体積を求めなさい。



2

右の図の立体は、底面の半径が12cm、高さが16cmの円すいを、底面から8cmの高さで底面と平行な平面で切り取ったものです。次の各問いに答えなさい。ただし、円周率は π とします。

(1) この立体の体積を求めなさい。



(2) この立体の表面積を求めなさい。

1

$$1656 \text{ cm}^3$$

【解説】

$$\begin{aligned} & (12 \times 12 \times 12) - \left(6 \times 6 \times \frac{1}{2} \times 12 \times \frac{1}{3}\right) \\ &= 1728 - 72 \\ &= 1656 \end{aligned}$$

2

$$(1) \quad 672\pi \text{ cm}^3$$

【解説】

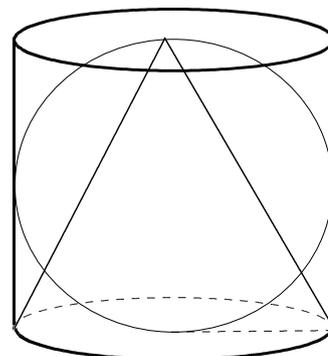
$$\begin{aligned} & 12 \times 12 \times \pi \times 16 \times \frac{1}{3} - 6 \times 6 \times \pi \times 8 \times \frac{1}{3} \\ &= 768\pi - 96\pi \\ &= 672\pi \end{aligned}$$

$$(2) \quad 360\pi \text{ cm}^2$$

【解説】

$$\begin{aligned} \text{側面積} &= 20 \times 20 \times \pi \times \frac{12}{20} - 10 \times 10 \times \pi \times \frac{12}{20} \\ &= 240\pi - 60\pi \\ &= 180\pi \\ \\ \text{立体の表面積} &= 6 \times 6 \times \pi + 12 \times 12 \times \pi + 180\pi \\ &= 36\pi + 144\pi + 180\pi \\ &= 360\pi \end{aligned}$$

- 1 底面の半径が5cm、高さが10cmの円柱があります。その中に、ぴったり入る球と円すいがあるとき、体積比（円すいの体積：球の体積：円柱の体積）を求めなさい。ただし、円周率は π とします。



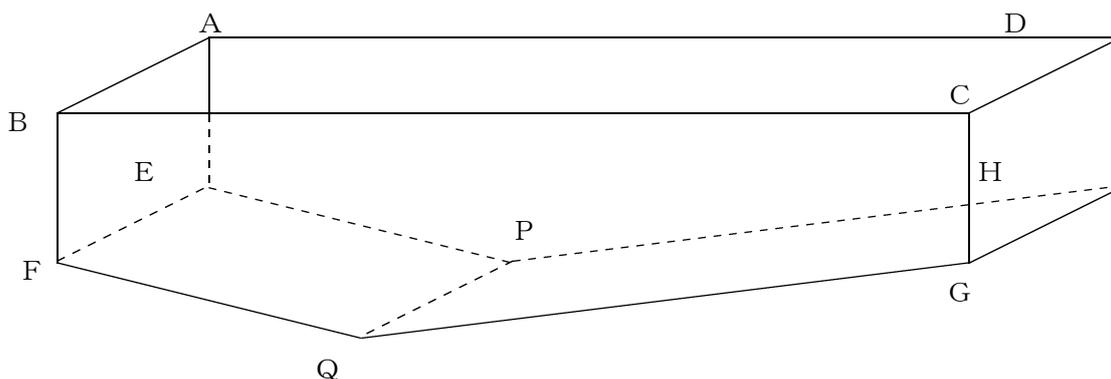
- 2 下の図は、ある中学校のプールの形を図に表したものであり、次の条件を満たしています。

ア 面ABFEと面EFQP, 面EFQPと面PQGH, 面PQGHと面DCGHは、それぞれ交わっているが、垂直には交わっていない。

それ以外の交わる2つの面は、互いに垂直に交わっている。

イ 面AEPHDと面BFQGC以外の面は、すべて長方形である。

ウ 面ABFEと面DCGH, 面AEPHDと面BFQGCはそれぞれ合同である。



今、このプールを満水にしたときの、その水の量を計算で求めようとしています。そのために、計算に必要な長さを調べなければなりません。しかし、調べる長さは、できるだけ少なくしたいと思います。

水の量を計算で求めるためには、少なくともどここの長さを調べる必要がありますか。また、その長さを使ってどのように求めればよいでしょうか。それらを説明しなさい。

もし、図の記号以外に記号が必要な場合には、適当な記号を補ってもかまいません。

1

円すいの体積：球の体積：円柱の体積 = 1 : 2 : 3

【解説】

円柱の体積

$$5 \times 5 \times \pi \times 10 = 250\pi \text{ cm}^3$$

円すいの体積

$$5 \times 5 \times \pi \times 10 \times \frac{1}{3} = \frac{250}{3} \pi \text{ cm}^3$$

球の体積

$$\frac{4}{3} \times \pi \times 5 \times 5 \times 5 = \frac{500}{3} \pi \text{ cm}^3$$

円すいの体積：球の体積：円柱の体積

$$\frac{250}{3} \pi : \frac{500}{3} \pi : 250\pi = 1 : 2 : 3$$

2

プールに入る水は、直方体BFGC-AEHDと三角柱QGF-PHEで合成された、五角柱BFQGC-AEPHDと考えることができる。

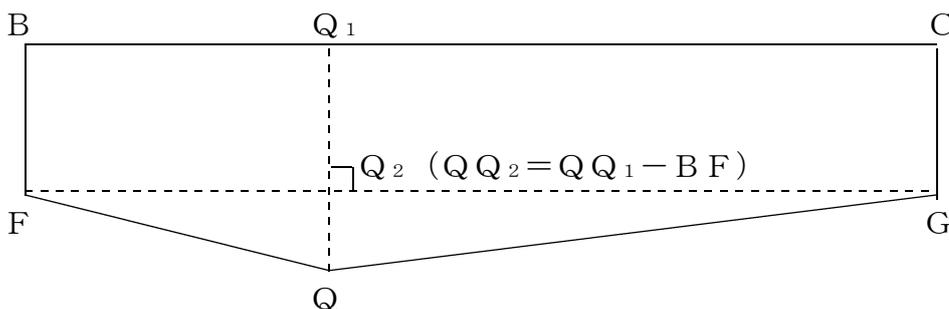
五角形BFQGCを底面、ABを高さとするとき、

- ・ AB (=DC=EF=HG) の長さ
- ・ AD (=BC=EH=FG) の長さ
- ・ AE (=BF=CG=DH) の長さ
- ・ PからAD, または, QからBCに下ろした垂線の長さ (下の図のQQ₁)

の4つの長さを調べればよい。

<解答例>

五角形BFQGCを底面、ABを高さとした角柱と考える。



先の4つの長さがわかれば、次の式で体積が求められる。

(求める五角柱の体積)

$$= (\text{底面}BFQQ_1C\text{の面積}) \times (\text{高さ}AB)$$

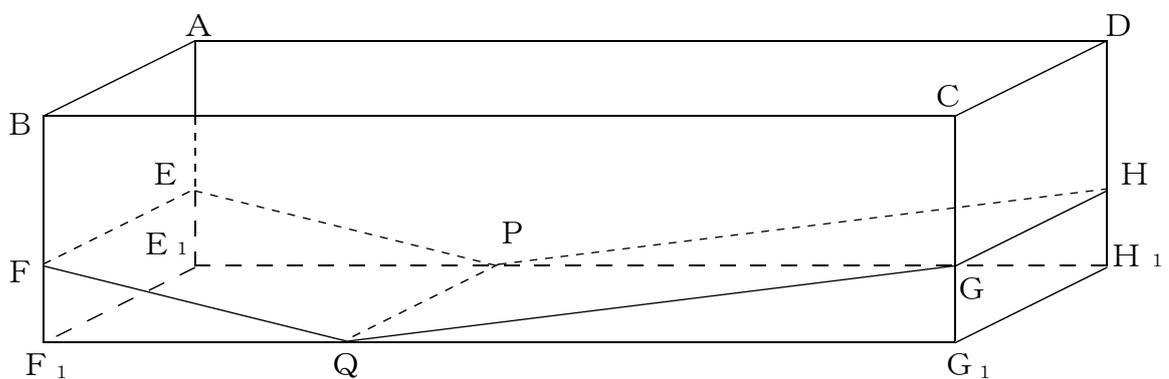
$$= \{(\text{長方形}BFQC\text{の面積}) + (\text{三角形}QGF\text{の面積})\} \times AB$$

$$= [(BF \times BC) + \{\frac{1}{2} \times FG \times (QQ_1 - BF)\}] \times AB$$

$$= [(AE \times AD) + \{\frac{1}{2} \times AD \times (QQ_1 - AE)\}] \times AB$$

<別解>

直方体 $BF_1Q_1D-AE_1H_1D$ から三角柱 FF_1Q-EE_1P と三角柱 GG_1Q-HH_1P を除いた角柱と考える。



<参考>

下の図のような、四角柱 $BFQQ_1-AEPP_1$ と四角柱 $CGQQ_1-DHPP_1$ で合成された五角柱と考えると、測定しなければいけない長さが1か所多くなるので、題意に適さない。(先の4つの長さのほかに、 BQ_1 , AP_1 , CQ_1 , DP_1 のいずれかが必要となる。)

